

指定校番号	28084	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立瀬野川東中学校	校長	小島 清資	生徒指導主事	澤井巳喜男
-----	-------------	----	-------	--------	-------

<b>取組事例名</b>	『第 28 回 体育祭』
<b>取組のねらい</b>	『キーワード 自覚 責任 自己表現 健康・安全』
<p>1 集団の一員としての自覚を持たせ、社会性と責任感を養う</p> <p>2 堂々と自己を発揮する力を養う</p> <p>3 心身の健全な発達を促進する</p> <p>4 健康・安全の習慣・態度を培う</p>	
<b>取組の具体的内容</b>	『キーワード 全力 主体性 協働 礼節』
<p>生徒指導の三機能を活かした、特別活動（体育祭）における生徒指導の推進</p> <p><b>1 生徒に自己決定の場を与える取組</b></p> <p>(1) 出場種目について、全体演技、個人競技（学年別・男女別）、団体競技（学年別・男女別）、選抜競技（全体・各学年）の中から、生徒一人一人に自分の出場種目を希望・決定させる。</p> <p><b>2 生徒に自己存在感をあたえる取組</b></p> <p>(1) 赤組・青組・黄組・組緑の縦割り学級群各組ごとに団長を選出・決定させ、各組内における指示・連絡や練習・応援時のリーダーシップをとらせる。</p> <p>(2) 各組別練習において、団長・生徒会執行部が中心となって練習計画を立てさせ、2・3年生全員に責任を持って1年生全員を指導させる。（ラジオ体操第2・長縄跳び）</p> <p>(3) 係分担に基づいて、各係生徒全員に責任を持って各係活動を行わせる。</p> <p><b>3 共感的関係を育成する取組</b></p> <p>(1) 縦割り学級群組別の活動において、自主的な声掛けや励まし合いを工夫させる。</p> <p>(2) 各係ごとの活動において、主体的な連携・協働による活動を意識させる。</p> <p>(3) 全力で競技・演技する生徒に対する自然発生的な拍手を促す等、正しい賞賛の方法を体感させる。</p>	
<b>取組の課題・創意工夫</b>	『キーワード 組織 連帯 団結 一体感 統一感』
<p><b>1 生徒に自己決定の場を与える取組</b></p> <p>(1) 全校生徒一斉の集団演技における指揮者への立候補を募り、各演技・競技内の役割分担についても、各学級・縦割り学級群各組内で希望に基づいて決定させる。</p> <p><b>2 生徒に自己存在感をあたえる取組</b></p> <p>(1) 練習時において模範演技の披露・見学場面を設定し、意欲喚起と自信・プライドの獲得を図る。</p> <p>(2) 生徒全員による統一感のある全体演技を反復練習し、集団の一員であることを実感させる。</p> <p>(3) 各学級対抗の集団競技練習時間を期間内の朝・昼休憩時に設定し、各学級の一体感を実感させる。</p> <p><b>3 共感的関係を育成する取組</b></p> <p>(1) 意欲を持ち、連帯・団結して演技・競技に取り組むことを意識しやすい雰囲気づくりのため、生徒間における自主的な声掛けや励まし合いを促すよう努める。</p> <p>(2) 温かい雰囲気を創出するよう、応援パターンの確認や自然発生的な拍手を促すよう指示を出す。</p> <p>(3) 振り返り時にアンケートを実施し、評価内容を個人・学級にフィードバックする。</p>	

## 取組の成果（効果） 『キーワード 充実感 信頼 地域ぐるみ』

生徒の感想文で、「目標を決め、係分担、各競技で自分の役割やがんばりを肯定的に捉え、仲間とともに精一杯やり遂げた充実感を感じた」という内容のものが多数あった。

また、今年も体育祭に多くの保護者・卒業生・地域の方々の来校があった。各方面から貴重な御意見をいただいた。保護者アンケートで、生徒の真剣な取組の様子に肯定的な意見が多数あった。

今後も、効果的な生徒指導の取組の一つとして体育祭を位置づけるとともに、充実・改善に努め、地域から信頼される学校づくり・地域ぐるみの教育に繋いでいきたい。

## 今後の展開 『キーワード 報告 連絡 相談 共感的理解』

体育祭終了後の反省会において、気付きをもとに、報告・連絡を行った。全教職員が、生徒一人一人の努力した点、がんばった点を共感的にとらえて声かけを実践し、多くの生徒との信頼関係の構築に努めることを確認した。

生徒一人一人が、今後の学校生活で体育祭の成果を肯定的に捉え、自尊感情を深めて何事にも前向きに取り組むことができるよう、指導・助言を重ねていくことを確認した。

今後も学校行事への取組を通じ、傾聴に重点を置いた教育相談を継続し、共感的理解・共感的実践に努めながら、生徒の規範意識・自尊感情の涵養を目指したい。

## 他校へのアドバイス 『全校指導体制』

学校行事を生徒指導の絶好の機会としてとらえ、「ねらい」を明確にして全教職員が共通認識を持ち、足並みを揃えての対応が最も重要であることを改めて確認することができた。

また、生徒との信頼関係構築を図ろうとした時、学校行事への取組を積極的に活用することは、ベクトルを揃えやすく、生徒一人一人の長所を把握し、努力やがんばりを認めてやるのが比較的容易であることから、生徒理解・指導をすすめるうえで有効であると捉えている。



全校生徒による演技「ラジオ体操第2」



「みんなでジャンプ 2nd Stage」(長縄跳び)